

暑さも吹き飛ばす怖い本特集

今年も暑い季節がやってきました。こんな時は涼しいものが恋しくありませんか？

そこで今回は怖い本を特集しました。心霊、オカルト、ミステリー、モキュメンタリーなどいろんなジャンルの怖い本を集めています。

ぜひ気になるものを手に取って“涼”を感じてください。



『ホロウィッツホラー』
アンソニー・ホロウィッツ／作 講談社 933ホ

イギリスの作家、アンソニー・ホロウィッツによるホラー短編集。中古で購入したバスタブから怪奇現象がおこる「恐怖のバスタブ」や、撮影されると死ぬ「殺人カメラ」など、中高生が主人公の9作品。



『うるはしみにくしあなたのともだち』
澤村 伊智／著 双葉社 913.6サ

クラスで一番の美少女が自殺する。その後、見えない力によって女生徒の容姿が次々と傷付けられていく。互いを疑う生徒たち、変化していくクラスカースト。担任は異変の真相を探るうちに、地域に伝わるおまじないの存在を知る…。



『ヒソヒソ話したくなる180秒の怖い話』
並木 伸一郎／著 辰巳出版 147チ

この世に未練を残した霊が、この世に現出する「心霊現象」。著者の50年近い取材活動のなかで見聞きした情報や、友人・知人たちの体験した心霊現象にまつわるエピソードを厳選した、短くて怖い47の怪談を掲載。